

平成30年12月11日

平成30年度懸賞論文

「安全で健やかな子供の成長をいかに確保するか」選考結果

(6編、敬称略 各賞50音順 年齢は応募時)

選考結果(敬称略)

(公財)公共政策調査会が警察庁及び読売新聞社の後援の下、警察大学校警察政策研究センターとの共催で、平成30年度事業の一環として実施した「安全で健やかな子供の成長をいかに確保するか」をテーマとする懸賞論文募集に対して、55編の応募があり、12月11日の選考委員会において厳正なる審査の結果、次のとおり入選作が決定した。

[最優秀賞] 1 編

児童虐待防止のための法改正－児童虐待による死亡事案を防止するために－

二ノ宮 洋一(にのみや よういち) 男 45歳 滋賀県大津市

警察官(京都府警察)

[優秀賞] 2 編

子どもの予防接種を取り巻く問題に対する医学生からの提案

磯邊 綾菜(いそべ あやな) 女 22歳 京都府京都市

大学生(京都府立医科大学)

児童虐待の一次予防・二次予防に資する施策について

木下 翔太郎(きのした しょうたろう) 男 29歳 東京都荒川区

大学院生(国際医療福祉大学大学院)

[佳作] 2 編

安全で健やかな子供の成長をいかに確保するか－脳科学からの提言－

長嶺 敬彦(ながみね たかひこ) 男 61歳 山口県防府市

脳科学研究所三光舎代表

子どもたちが安心して学べる教育環境づくり－いじめのない学校を目指して－

藤井 健太郎(ふじい けんたろう) 男 42歳 岐阜県不破郡関ヶ原町

中学校教諭(関ヶ原町立今須中学校)

[奨励賞] 1 編

「リラセラールーム」を設けることで中高生のストレスを軽減できるか

山澤 結以(やまさわ ゆい) 女 18歳 京都府京都市

高校生(立命館慶祥高校)